

8月 1日～15日の国内外外国為替市場動向

	為替市況	主要経済指標など	主要発言など	為替レート		
				ドル円	ユーロ円	24H
05/08/01 (月)	東京は政局不透明感から円売りスタートが始まるも、その後は株高などを受け円が急反発。欧米は一時円高に振れるも行って来い。露中銀の発表もありユーロも一時買い進まれたが、やはり続かず。	・サウジのファハド国王死去、次期国王はアブドゥラ皇太子 ・7月の米ISM製造業56.6、6月建設支出 0.3% ・露中銀が通貨バスケットのユーロ比率を0.30から0.35へ引き上げ	・自民党亀井氏「解散総選挙なら新党結成も選択肢」 ・米財務長官「人民元切り上げ、世界経済に恩恵」	112.65 111.72 112.65 112.25	136.58 136.38 136.99 136.72	寄付 安値 高値 終値
05/08/02 (火)	東京は円が全面高。FT紙報道に加え株高を好感した円買い活発。ドル/円は1円近い円高を見せた。欧米は円高と言うよりユーロ安。材料的なものはとくに見られなかったが、ガスを中心にユーロが弱くない。	・中国海洋石油が米ユナコ買収提案を撤回 ・6月の米個人所得0.5%、同個人消費0.8%、同製造業受注1.0%	・FT紙「ドルの上昇力息切れ、今後は米国の構造問題に焦点」 ・福井日銀総裁「消費者物価は年末年始にかけてプラスに転じる可能性高い」	112.19 111.10 112.23 111.47	136.79 135.78 136.85 135.88	寄付 安値 高値 終値
05/08/03 (水)	東京は前日から一変し、ガス中心の円安傾向。日経平均が一時12000円をつけるも影響なし。欧米は再びドル安へ。この日も原油高が続くとドルの足枷に。ユーロ/ドルで損切りを巻き込みドル一段安。	・豪中銀が金利据え置き発表 ・独アディダスが米リーボックを31億ドルで買収へ ・米財務省が30年債の発行再開 ・7月の米ISM非製造業60.5		111.38 110.98 111.94 111.08	135.83 135.80 137.15 137.04	寄付 安値 高値 終値
05/08/04 (木)	東京はほぼレンジ内での揉み合い。仲値近辺に若干の変動は見られたが、あとはほぼ平坦。欧米は再びユーロ高。金融政策は予想通りながらテロに対する警戒感からユーロの買い戻し進む。	・6月の独製造業受注2.4% ・BOEが政策金利を25BP引き上げ ・ECBは政策金利を据え置き ・NY連銀が為替報告書発表、第2四半期は介入実施なし	・渡辺財務官「人民元は一層の柔軟性が必要」 ・FT紙「前日にサウジ通貨庁は15～50億ユーロを買った模様」 ・アルカイダのザワリ長官が英米に新たなテロ警告	111.17 110.75 111.63 111.23	137.07 136.67 137.85 137.76	寄付 安値 高値 終値
05/08/05 (金)	東京は円が小幅安。中曽根氏の行動を受けた郵政法案否決思惑広がり政局不安が嫌気された。欧米は円が独歩安。米雇用統計は予想通りで反応限定的。それより日本の政治情勢に注目集まる。	・6月の景気先行指数60.0%と5ヶ月ぶりの50%超、景気判断も上方修正 ・7月末の外貨準備高 38.81億ドル ・7月の米失業率5.0%、同非農業者雇用数20.7万人	・自民党の中曽根元文相が郵政法案への反対を表明 ・ECB総裁「ユーロ圏の金利は適切」 ・CEA委員長「労働市場はさらなる伸びの余地がある」	111.24 111.20 112.20 111.93	137.78 137.66 138.40 138.31	寄付 安値 高値 終値
05/08/08 (月)	東京は円が弱含み。郵政法案否決による解散で政治空白を嫌気した円売りがさむ展開。欧米は一時円高に振れるも行って来い。ただ日本の政治不安は限定的との見方有力で基調は強い。	・週末の一部英紙「米システムズ」がフィンランドのノキア買収を検討 ・サウジへのテロ警告で米大使館が閉鎖される	・参院で郵政法案が否決される、それを受けて小泉首相が衆院の解散を宣言、「反対票を投じた議員は公認しない」「自公で過半数を取れば退陣」	112.39 111.55 112.63 112.17	138.60 138.05 138.84 138.53	寄付 安値 高値 終値
05/08/09 (火)	東京はレンジ内で荒い値動き。政治不安はくすぶるものの、景気回復期待から円も積極的に売り難い。欧米は一進一退。金利の引き上げはドルの好材料ながら声明の据え置きに対する失望感も強い。	・日銀が現行の金融政策を7:2の賛成多数で決定 ・6月の機械受注は11.1% ・FOMCが25BPの利上げ動意これで10回連続、また声明の表現は従来から据え置いた	・福井日銀総裁「踊り場をほぼ脱却したと判断しうるのではないか」 ・岡田民主党代表「政権を取れば辞任する」	112.00 111.67 112.25 111.90	138.49 138.20 138.74 138.42	寄付 安値 高値 終値
05/08/10 (水)	東京は円買い優勢。日本の景気回復に対する強気の見通しに加え通貨バスケット報道が好感された。欧米でも円買いの流れ止まらず。一方で原油価格の上昇などもあり、途中はドル安進行の色合いも。	・中国人民銀行「通貨バスケットの主要構成通貨はドル、円、ユーロ、ウォン」 ・7月の米財政収支 528億ドル	・ロス氏「人民元は遅くとも数ヶ月以内に1～2%切り上げられる」 ・渡辺財務官「解散総選挙、市場への影響は限定的」 ・小泉首相「総選挙争点としての消費税引き上げは考えていない」	111.80 110.40 111.80 110.65	138.13 136.57 138.15 137.00	寄付 安値 高値 終値
05/08/11 (木)	東京も引き続き円しっかり。株価が強含みで推移しているほか景気に対する楽観論などが円買い要因。欧米で円は続伸。原油高の流れがこの日も続きドル高の足枷に。米債の利払いなど需給要因も。	・6月の経常収支1兆866億円 ・7月の豪州失業率5.0% ・第2四半期独GDP0.0% ・第2四半期ユーロ圏GDP0.3% ・7月の米小売売上高1.8%、同企業在庫0.0%	・ECB月報「政策金利は適切だ」 ・米財務長官「米経済成長は非常に強い」	110.58 109.56 110.60 109.70	136.93 136.54 137.13 136.80	寄付 安値 高値 終値
05/08/12 (金)	早朝発表されたGDPは予想を下回る数値で円売りがさむかと思いきや、予想に反して円は底堅い。欧米は円が小幅に続伸。発表された米経済指標はノインパクト、ただ8月需給要因などから円がしっかり。	・第2四半期実質GDP速報値0.3% ・6月の鉱工業生産確報値1.6%、同設備稼働率104.4 ・日銀が議事録要旨公開 ・6月の米貿易赤字 588億ドル、8月のシカゴ大消費者信頼感指数92.7	・谷垣財務相「いままでの景気判断の枠内」 ・小泉首相「15日の靖国参拝については適切に判断する」	109.86 109.30 109.95 109.38	136.84 135.97 136.95 136.09	寄付 安値 高値 終値
05/08/15 (月)	東京はユーロが小幅安。とくに新規の材料はなかったが夜半の対米証券投資発表をにらみつつ調整進む。欧米でユーロは続伸。発表された対米証券投資は好数字になったもののドル買いに繋がらず。	・独連銀月報「ECBの政策金利水準は景気に障害とならない」 ・8月のNY連銀製造業景気指数23.0、6月の対米証券投資712億ドル	・週末香港紙で反日デモの呼び掛けあり ・英紙タイムズ「アルカイダがNYその他で爆破テロ計画」	109.40 109.21 109.82 109.25	136.26 135.00 136.31 135.11	寄付 安値 高値 終値

\* ご質問などはEメールにてお願い致します。アドレス info@fx-newsletter.com まで